

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県 小城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	21.89	91.27	2,970

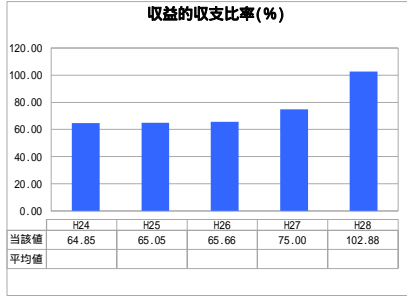
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
45,641	95.81	476.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,962	2.95	3,376.95

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】平成28年度全国平均

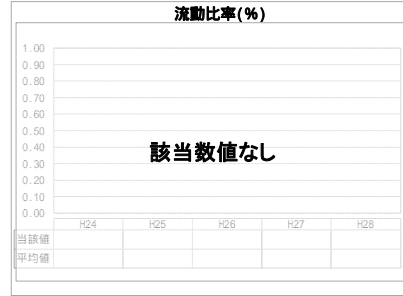
## 1. 経営の健全性・効率性



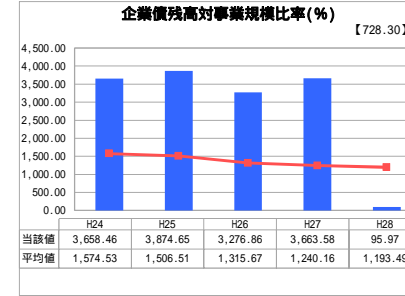
「単年度の収支」



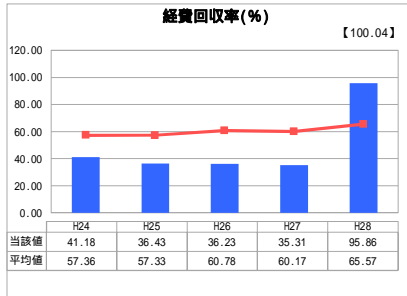
「累積欠損」



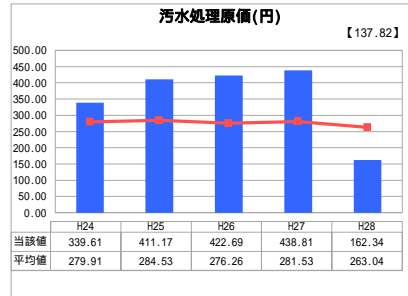
「支払能力」



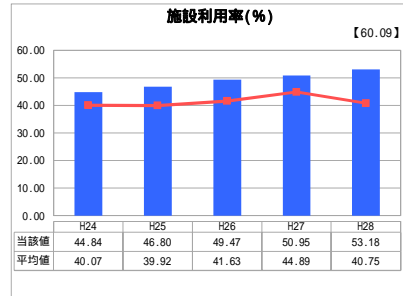
「債務残高」



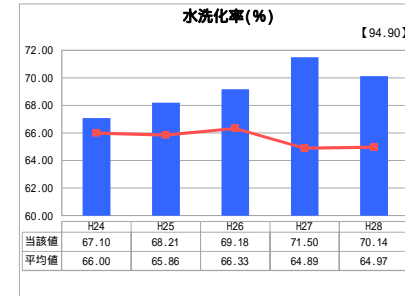
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

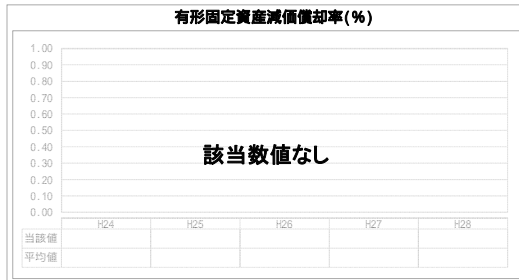


「施設の効率性」

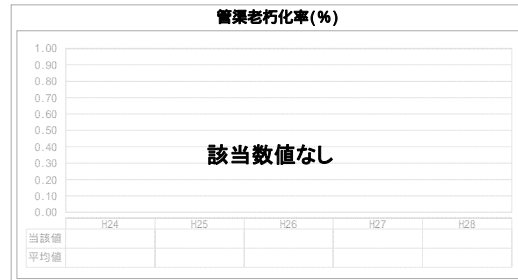


「使用料対象の捕捉」

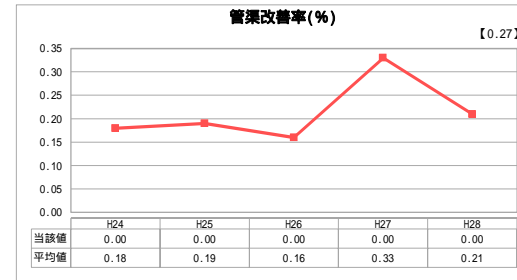
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当市の公共下水道について、収益的収支比率が、100%を上回り経営が安定してきている。

また、企業債残高対事業規模比率についても、類似団体と比較して有利な状態にある。未整備地区が多いことや処理場の増設により今後も多大な投資が見込まれるため、投資規模見直しの検討が必要である。

当市では、類似団体より水洗化率が高い状態にあり、経費回収率も高くなってきている。また、未整備地区が多く整備が進むにつれ収益的収支の向上が見込まれる。

表の数値改善は、平成28年度決算統計における、基準内繰入金の繰入基準見直しによる改善である。

施設利用率については、類似団体より高くなってきているので、今後も計画的に整備を進めていく。

### 2. 老朽化の状況について

当市の公共下水道の供用開始は平成15年3月28日以降となっており、下水道管に法定耐用年数を超えたものはない。

### 全体総括

当市では、経営の健全化・効率化のために未整備地域の下水道整備を進め、公共下水道への接続率を向上させて水洗化を高めていく必要がある。そのために戸別訪問による接続促進等で水洗化を促進していく必要がある。

また、使用料改定を行い経営基盤の強化を図る必要がある。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。